文芸

短編 息子 (4)

十市梨夫

結婚の言葉を口にした時から男は人が変わったように雄弁になったが、反対に女はじゅ文にでもかかったようにおとなしくなった。

「きのうのぼくは君にお別れをいうつもりだった。けれどもいまはそれができない。ぼくの人生には君がどんなに必要なのかがいまはっきり分かったからだ。もちろん現在は農家の娘だって百姓をしたがらない時代だから、都会で生れ都会で育った君にこんなことを要求するのが、どんなに無暴で難題だかも知っている。知っていてなおぼくは口にせずにいられなかった」

道子は弾丸のように降りかかってくる男の言葉をじっと聞いていた。快い戦慄が胸の隅々を浸してくる。自分はいまひとりの異性からはげしく求愛されているのだと思うと、益々胸が高鳴ってきた。昨夜もほぼ相似た立場にあったと道子は思う。喫茶店で沢田と向かいあって、これから度々つき合ってほしいといわれた時、道子ははっきりした答えを渋ったが、内心では一刻も早やくその場を逃れたいおもいでいっぱいであった。だがいまの気持はちがう。自分もこの人を愛していると道子は思った。

いまここで男の手が伸びてきたら、彼女はすなおに男の胸へとびこんでいったであろう。愛情を決定づけるためには、ある場合にはそうすることがいちばんの近道である。道子はそういう切迫したものを男の眼から感じた。男の手が伸びてくる。強い力で抱き寄せられたら自分は決っして抗いはしないだろう。むしろ自ら求めてその部厚い胸へ顔をうずめにゆくかも知れない。道子の中の女は一瞬それを欲していた。だが男はそうしなかった。男はたばこを取りだすと人海の方を向いてライターをひねった。道子は男のそんなしぐさに不満を感じたが、しかし男にはそうする必要があったようだ。道子は周りの変化も忘れていたが、彼女の気づかない間にひと組の男女が背後の岩の間から下りてきたのである。その若い二人連れは新婚の夫婦か結婚を約して目下交際中の者か、とにかく肉体でか心でか、しっかりと結ばれた人達であろう。通り過ぎる時ちらと流した女の視線を道子は捉えた。丸顔のあまり美貌とは言えないが充ち足りた幸福感がその表情には張っていた。二つの影が下の雑木の間に消えてゆくと、男は向きなおって道子に視線を当てたが、意外にもその表情には微笑が浮んでいた。

「結婚の話はどうやらずいぶんと難題らしいね」男は微笑を含んだ儘で言った。

「あなたが信頼の置ける方であることは分かっていても、わたしはいままでに農家での生活を考えたことがなく、農家のことは何も知らないものですから」これはまじめな顔付で答えた。

「それで…」男の顔から微笑が消えた。

「兄ともよく相談してお答えします」

「この由にはかなしい恋の歴史しかないのだから仕方がない」諦めたように言った男のひと言が道子の胸へ突き刺さった。

「純信とお馬さんのことね。でもあの人達の恋は鍛しい掟で縛られていた時代だったから仕方がなかったのよ」

「いまはそんな残酷な掟はなくても百姓をいやがる社会的風潮は昔の自由を縛るだろう。百姓をするとなるとペンを握るかわりに堅い鍬を持ち、きれいなスカートのかわりに泥のついたモンペを履かなければならない。色だって陽に灼けて黒くなる。君の美貌と教養とはそれを拒むにちがいない」

「そんなことはどうだっていいのよ。わたしはそんなはすっぱな女じゃありません。それよりか村の娘さん達が農家へ嫁ぐことをいやがる第一の理由は何なの」

（未完）

オリンピックによせて (八)

市スポーツ振興審議会長　沢村武

大会八日目から、二万人の観衆を収容出来るという当時世界一の大プールでいよいよ待望の水上競技が始まった。

競技開始の八月九日午前九時(日本時間午後五時)には、すでに超満員の盛況で、日、米水上の争覇の鍵であると見られていた百米予選が大観衆の歓声のうちに開始された。

百米予選ではB組游佐正憲D組新井義雄F組田口正路が出場三人ともオリンピックの大会新記録を出し、それぞれ一位で通過し、幸先極めて良く、日本の応援団は熱狂した。

翌十日の二日目には、百米の決勝が行なわれ、日本は不利なコースで一位をハンガリーのチックに譲ったが、二位游佐、三位新井、四位田口の成績で水上日本の威力を十分に発揮し、先ず大日章旗三本を掲げた。

四日目の八月十一日には、男子八百米リレーと女子二百米平泳決勝が行なわれた。八百米リレー出場の日本チームは、遊佐、杉浦、田口、新井のメンバーで、各選手とも極めて好調実力を発揮し、二着の米国チームを約十四米引きはなし、八分五十一秒五のオリンピック並びに世界新記録で堂々優勝した。

米競技が終わって、日本、米国、ハンガリー三カ国の選手がプールに向って整列するや、日本の応援団は、まだ国旗の掲揚がないのに君ケ代を歌う者があったほど熱狂した。

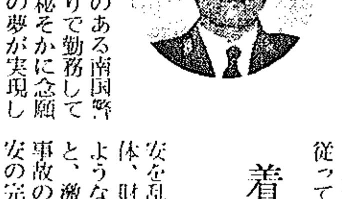
つづいて、女子二百米平泳決勝では、優勝候補の前畑選手と、ドイツのゲネンガー選手の二人が、他の選手を引き離して、頭角を現わし、最後のターンでは、前畑は二位のゲネガーとの差僅かに半米に縮まり、これより二人は、猛烈な競り合を続け、最後の二十米ではゲネンガーがピッチを上げて前畑に肉迫、前畑危しと思われスタンドの日本人は気が気でなかった。しかし前畑は、断然頑張り遂に半米の差で優勝した。時間は三分三秒六、二位のゲネンガーもまた、三分四秒二でともにオリンピック新であった。

この熱戦を貴賓席で見ていたヒトラー総統は、プールのそばに来て前畑、ゲネンガー選手に握手をして喜んでいた顔が浮かんで来る。日本の女子が国際競技の檜舞台で優勝したのは、前畑選手が最初で日本女性の意気を全世界に示したものと当時国民はひとしく感激した。

あなたの悩みは
無料人権相談所へ
毎月20日　午前10時から
ー中町公民館ー

着任のごあいさつ

南国警察署長　森田茂



親愛なる管内のみなさま

去る三月の人事異動で南国警察署長を命ぜられ過日着任いたしました。

二十数年に亘る警察官生活の中で、お城より東の警察署に勤務した経験がなく、一度はお城より東の、しかも県下警察署の中でも伝統のある南国警察署のあたりで勤務してみたい、と秘そかに念願した永い間の夢が実現して南国市民として皆さまに仲間入りさせて頂き、公私の生活をたのしむ機会に恵まれたことを家族とともに心から喜こんでおります。

警察の使命は社会公共の発展と福祉に障害となるあらゆる事犯を除去し、管内の皆さまが何の不安もなく、平和で明るい生活のできるような社会環境をを確保することであります。

従って私は社会公共の治安を乱し個人の生命、身体、財産に危害を加えるような悪質な犯罪の一掃と、激増しつつある交通事故の防止に努力し、治安の完璧を期したいと思っております。

このごろ青少年犯罪の増加が社会問題として大きく取りあげられておりますが、当署管内の少年犯罪は県下の平均を大きく上廻っているため、今後少年犯罪の防止と補導育成にも努力いたします、

南国市は高知市の東の関門として産業振興に、また文化の向上に果す役割は大きく、この点からも警察の使命は重要であると存じております。

私は南国市民としてまた警察官として南国市の飛躍的発展と、民生安定の陰の力として、微力を捧げる決意を固めておりますが、未熟のためその任重く、道遠きを痛感いたしております。

ここにごあいさつとともに格別のご指導とご協力をお願いいたします。

綜合堰と茂久川 (8)

後免と農用水

南海虚子

これで三百余年前の自然流の姿に復元されるので水の格斗と湛水は解消されよう。しかし本水路は野田の上流部での構造異変で水量確保が不安定だ。それで確実な取水法が新川カーブ分水に代って要求される。これには実兼の頭を西に流下している小溝を修正し、新鏡の取水構造を改造新川の間近く迫ったカーブに新設してこれに連通したい。下流部の構造にも述べたいのがあるが割愛し、後免幹流の形成と汚水路の解消に移りたい。

◇茂久川から後免幹流を放つことによって、町内汚水路の解消と舟人の埋立を図るといったなら、茂久川関係者は憤るかも知れない。電燈線に二叉を次々と差込むのとは違って、茂久川をして舟人に代る西部平野の王座に立たしめ、灌水機能を充実するものなら、用水は多々弁じ得ない。しかも相重なる保蓄水源を確保する綜合堰に改めた上でのことだ。本稿はすべてこの状態での記述だと了解されたい。

さてここに後免幹流というのは、茂久川の中流近くにある東崎のいまの分水路に着眼されたい。ここではすでに南方え淙々と清流を送っている。後免幹流というのはこの水路が昇格整備されての状態のことだ。これが床下潜流の怪汚水路といわれた新川分水を解消せしめ、更に舟人に代って篠原方面の用水たらしめるものであるが、その高姿勢による威力発揮の操作は後述する。まず東崎の分水を適当な位置で新構造に取直し、それ以南流程の大部分は現存水路に修正拡幅の手を加えることによって、ここに新装の後免幹流となるわけである。かくて農業高校の東側を南下せしめ、更に新水路に取直して西に向けせたい。西向きの水路となっては若干修正も要するが、これまた大部分は既存水路を追うことができる。かくて西町の日吉神社裏手に至り、東北から流下してくる小溝を合せて舟人に流下さすまでのことだ。後免幹流の形成後は舟人は上流の新川分岐点までは廃川理立となるわけ。これで町区隔絶の城濠は姿を消し、南北両地区統一体系の都市が計画されることとなる。

さて、西町で後免幹流を受けこんだ舟人は、これより下流部の規模を縮少して後免幹流の延長水路に整形する。それは今の舟人よりやや河床を上げ、北岸の平野尻に沿うて西流させたい。いはば篠原幹流であって、東崎分水以下充分な水量を確保すべきはいうまでもない。現在の舟人南岸の高い道路は、舟人開通当時に北側台地の裾を河形に切取った土砂の盛土堤防であって今これを舟人の埋戻しに崩しとるなら、道路は北にズレ寄ると共にその跡は耕地化され得る。かくして高姿勢の幹流たらしめた上で、現在の数流南下の篠原用水路え放下させたい。この間茂久川からの補水も考えられるが、住吉通りに落合う水路などは特に手当したい。これで舟人水路は篠原裏まで失われるが、茂久川尻以西の舟人は茂久川本流の延長川として整形するなら、出水期の豪勢な茂久川の排水は容易となろう。なお茂久川本流全線の整形整備の要はいうまでもない。

（未完）

今月の税金

四月は、38年度軽自動車税の納期(一日～三十日)です。

市では納税者の便宜を計るため、市金庫(農協)以外の次の場所で、出張徴収をいたします。期限内の納税にご協力下さい。

地区	月日	時間	場所
大篠	1月30日	前9時－後4時	竹中公民館
稲生	〃	前9時－正午	立石公民館
〃	〃	後1時－後4時	西谷消防車所
十市	〃	前9時－正午	岡戸公民館
〃	〃	後1時－午4時	大小浜公民館
久礼田	〃	前9時－正午	植田公民館
〃	〃	後1時－後3時	領石支所
伊達野 住吉野	1月31日	前9時－正午	住吉野公民館
大篠	〃	前9時－正午	明見公民館

句集 南国

北村深々子選

鴫啼くや妻に叱られいる吾に　中村祭生
評 妻の一寸した非難を叱られたと表現するのが俳句的で秀語との解合もおもしろい好感のもてる句。

ビール飲む今宵うつくし悪女たり　浜川豊子
評 ビールを飲む雰囲気はたのしくうつくしい。一寸した自嘲の念を悪女と云ったのもおもしろい。

春灯の中の一つの華燭の灯　西岡双鳥子
評 華燭の灯を中心に灯る家々の灯。春灯のうつくしさ。

双蝶のもつれつゝ山墓へ行く　高村愛
評 たのしさの中の一抹の哀愁。

藁塚と青屋根の家空に紬　井上はじめ
評 田園都市の一風景。童話の風土。

霜の夜の空俵がしとね窯火守　井上なるき
夫不在虚色の紅の実南天　前田昭子
初蝶よいま見るこゝに午後も来よ　北村菊女
真夜中の看護足許より冷ゆる　沢田たかほ
今日は今日明日は明日なり春の海　浜田辰一
水温む流れに沿ひて少年駆ける　浜田とし子
太陽がのぼり雪だるま走りだす　少年　井上浩志
買収の杭打たる麦青む田に　小松ふみ
雛飾り終へし心は女のもの　橋本和子
餅草の芳吹くよ祖母のありし日よ　武市要子
棟上げの槌春光を跳ね返す　岩原貞美
鳶の輪の高くかすみて株刈る　永田培斎
籾蒔くや蝶うれしくてそこらとぶ　川村比路

編集後記

▽広報の発行がずれてきたなんとかおくれをとりもどしたいと努力しているものの、なかなかそれが実行できない、あと味も悪く心苦しくもおもい反省もし、努力もしている。……

▽今月号からリレー随想を始めてみた。親しみのあるたのしい欄になるよう念じている。